学校番号	320

令和８年度　教職トライ科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
教職トライ	（学）英文法授業研究	2	3	・総合英語 be 4th Edition ・Reading Flash Stage 2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

語彙・文法・語法・英作文の力の向上を目指した授業の中で、英語を研究すること、及び授業内容を他者へ説明したり互いに教えあったりすることを通して、授業の内容の理解をより深めます。
教員を志望する意欲を高め、教員になるために大学へ進学する確かな学力を養います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・120wpm 以上の速さで、発音、リズム、イントネーション、音声変化などを正確に聞き取りながら、まとまりのある日常生活での情報や説明をほぼ正確に理解することができる。	・まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・身近なトピックについて、簡単な英語を幅広く使って説明したり、自分の意見を伝えることができる。	・自分の関心事であれば、社会の状況について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表することができる。	・興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Section 1・2 英語の基本 英語の語順 と文の種類	聞くこと	a: 聞き取りにくい音の構造を知ることでリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	授業プリント （リスニング）
		話すこと （発表）	a: 英語の文型の種類、文型を正確に活用する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: 他の生徒の発表を参考にして自分の発表の精度を上げるよう努める	定期考査 （リーディング）
		読むこと	a: 英語の文型の種類、文型を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	プレゼン
		書くこと	a: 英語の文型の種類、文型を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	授業プリント （ライティング） 作文
	中間考査			
	Section 3〜5 時制 完了形 助動詞	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （やり取り）	a: 英語の時制、完了形、助動詞を正確に活用する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通して協力して学習に取り組むよう努める	スピーキング テスト
		読むこと	a: 英語の時制、完了形、助動詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 英語の時制、完了形、助動詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・ 文法問題）
	期末考査			
2	Section 6〜8 態 不定詞 動名詞	聞くこと	a: 音のつながりに関する知識をもとにリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （発表）	a: 適切な態、不定詞、動名詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: 他の生徒の発表を参考にして自分の発表の精度を上げるよう努める	プレゼンテーション
		読むこと	a: 適切な態、不定詞、動名詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 適切な態、不定詞、動名詞を用いることができる。 b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・ 文法問題）
	中間考査			

	Section 9･11 分詞 比較	聞くこと	a: 音のつながりに関する知識をもとにリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （やり取り）	a: 適切な分詞、比較を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通して協力して学習に取り組むよう努める	スピーキング テスト
		読むこと	a: 適切な分詞、比較を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 適切な分詞、比較を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・ 文法問題）
	期末考査			
3	Section 10・12 関係詞 仮定法	聞くこと	a: 英語を聞きながらメモを上手にとる方法を見つけてリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （やり取り）	a: 適切な関係詞、仮定法を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な会話のための表現を考える c: ペアワークを通して協力して学習に取り組むよう努める	スピーキング テスト
		読むこと	a: 適切な関係詞、仮定法を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 適切な関係詞、仮定法を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・ 文法問題）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度